

三木市子どもいじめ防止センター  
平成30年2月発行

## ライン LINEいじめ

小学生の時からインターネット上でいじめ問題について鋭い意見を発信している声優（ミツバチマーヤ役で有名）の春名風花さん（2001年2月生）のブログにこんな文章がありました。そのブログからの抜粋です。

### LINE いじめが流行っている

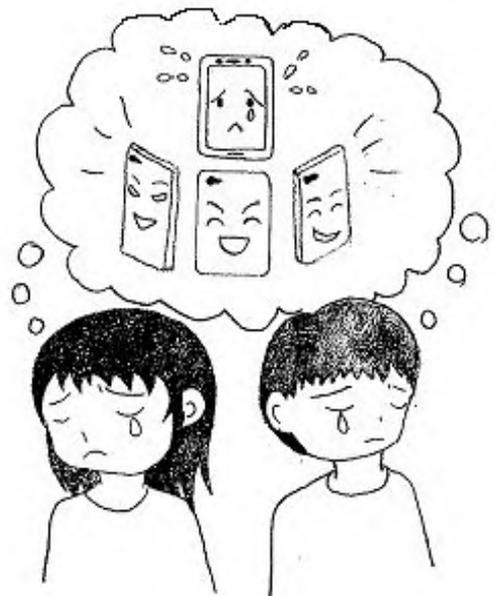
「相手を傷つけたい」そう思った瞬間に、このLINEというツールは気軽に、いつでも凶器に変わる。

「直接言われたり、何かされているわけじゃないから」などと自分を追い詰めて、いじめにあっていないと告白することもないし。

加害者たちはLINEで書いた言葉が「いじめ」だなんて露ほども思っていないんだけど。その閉ざされたLINEのグループの中だけで、音も気配もなく行われるLINEいじめには、普通のいじめには必ずいる「第三者」「目撃者」がどこにも存在しない。いじめだという証拠が一切漏れない、見当たらない。

また、最近では「LINEはずし」という新しいいじめ方もできた。LINEの会話は、そのグループ外からは見えない。一つのグループを作って

そこにいじめの対象を招待し、もうひとつ裏で、その子を外したグループを作り、友達ぶって会話し、その子を観察しては、裏グループで反応を笑い合う。被害者は本人も何がどうなっているかわからないし、ヤバくなれば、その裏グループごと消せばいいだけ。いじめが暴力や傷害や暴言で、第三者の目に見える場所で行われ、いじめられているということをいくらでも証明することができた時代は終わり、いじめは今「完全犯罪」になりました。



三木市子どもいじめ防止センター

電話: 0794-82-8110

ijime\_boshicenter@city.miki.lg.jp

三木市福井 1933-12 三木市立教育センター 3階

相談日: 月曜日～土曜日

時間: 午前9時～午後5時まで

日曜日・祝日はお休みです。





べんり ライン

# 便利なLINEだけれど . . . .

便利なコミュニケーションアプリ「LINE」。中高生を中心に多くの子どもたちがスマートフォンを持ち、気軽なコミュニケーションツールとしてLINEが使われるようになりました。その一方でグループトークなどでのいじめが増えています。

このグループトークは、外から見ることができないので、大人の監視の目が届きません。どんないじめがあるかという、

## ★「既読スルー」がきっかけになるいじめ。

LINEでは、メッセージを読むと「既読」という表示が出ます。相手のメッセージを読まなかったら、「ムシ（無視）った」と言われたりします。これでは、一日中スマホのそばにいないといけませんね。

## ★グループはずし

特定の子だけをグループからはずしたり（LINEでは、特定の人を退会させることができる）、特定の子だけ除いたグループを作ったりその子の悪口を言い合ったり、特定の子だけの書き込みを無視するなどのいじめ。また、その子が嫌がるような写真や動画をクラスのグループなどで共有するいじめも起きています。



## ★ひどくなるいじめ

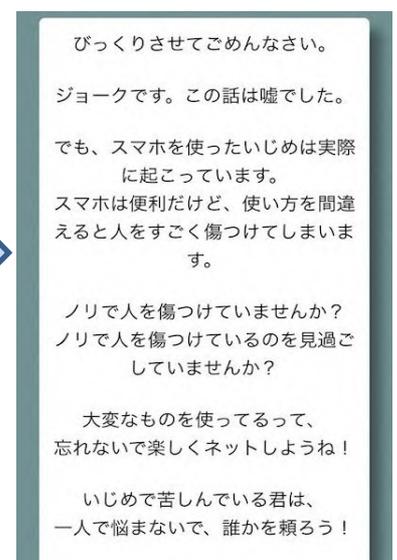
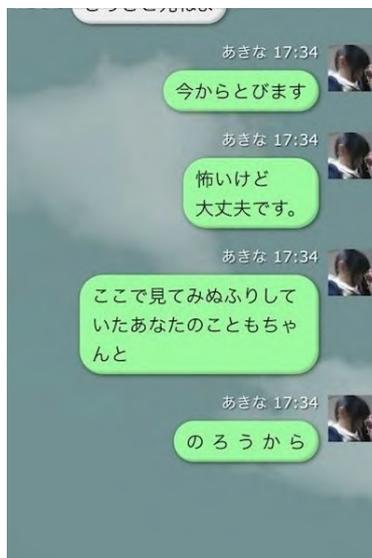
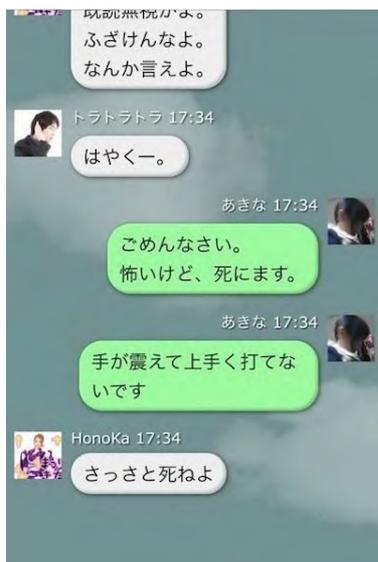
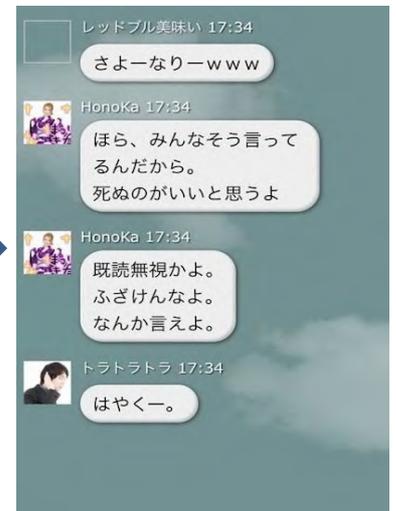
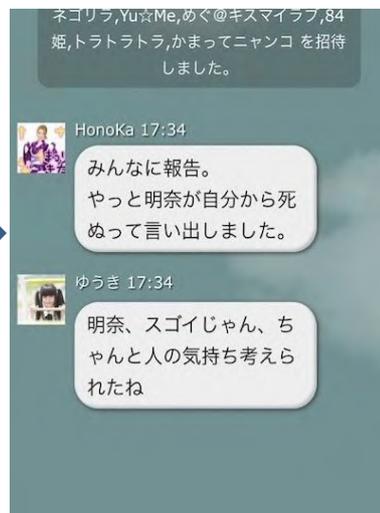
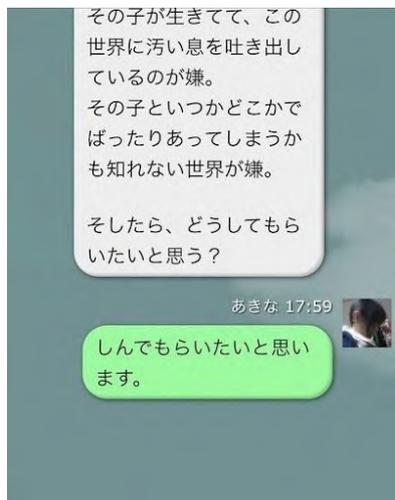
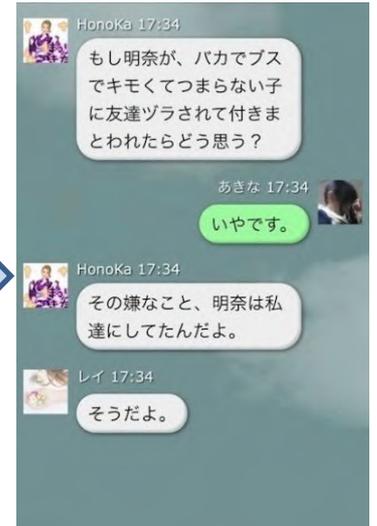
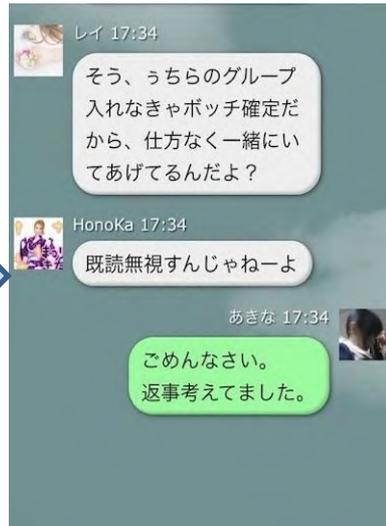
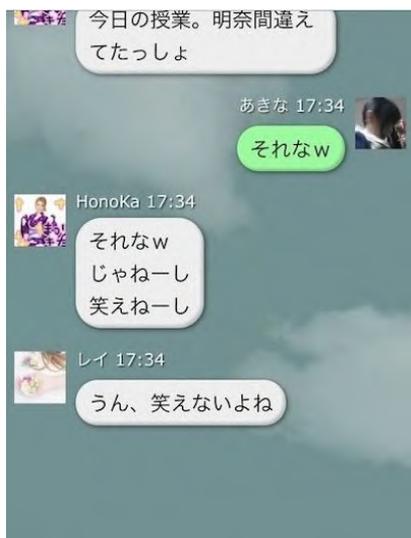
始めは、遊びの気持ちで悪口を書き込んでいたのが、だんだんひどくなってきます。加害者側は仲間を招待して、いじめる側の人数を増やしていくこともあるそうです（右のページ参照）。いじめる言葉もどんどんとエスカレートしていきます。被害者はひとりぼっちになって、苦しみが増してきます。

平成29年12月から、送信者自信が24時間以内なら自分のメッセージを受信者の履歴から削除できるようになりました。全くいじめの証拠が残りません。



LINEは他の人が覗くことができません。右のページに載せているのは、ネットで見つけた「LINEいじめ」の想像上のグループトークですが、そこから抜粋して載せています。いじめがエスカレートしていく様子がよくわかります。

# ライン LINEいじめって、こんなの!?



# 海外と日本のいじめの違い



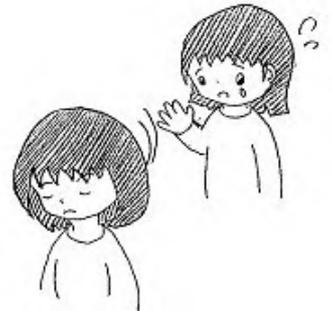
アメリカやドイツでは「ドラえもん」のジャイアンが行うようないじめが多いそうです。「強いものは誰か？」を

相手に示すのが欧米型の特徴で暴力によるいじめが多いそうです。

日本はというと、国の調査(2009年)では、中学3年生になるまでに90%の人が「無視、仲間はずれ、陰口」を経験しています。

「空気を読む」という日本独特のコミュニケーション方法もいじめを陰湿化させる原因だと言われています。欧米では、年齢が上がるにつれていじめを止めに入る子が増加しますが、日本では小学校高学年から中学生にかけて、いじめを傍観したり、無視したりする子が増えてきます。

欧米では自分の身は自分で守らなければという個人主義的な考え方が強いので、いじめられたときに「自分は悪くなく、相手が悪い」と考えて身を守る傾向があります。それに対し、「みんなの中に入れてないと悪い」という集団主義の中で育ってきた日本人は「自分が悪いからいじめられてしまう」と考えてしまうケースが多いのです。うつ病や、引きこもり、自殺などの反応を示しやすいのです。



このような日本のいじめの特徴があるので、密室のようになるLINE等の利用方法について、いじめの温床にならないよう対策を考えて行かなければなりません。学校での人間関係の改善、家庭ではスマホの使い方や友達との人間関係について親子でよくコミュニケーションをとる事が大切です。

## ★メール相談★

他県や他市ではLINEによる「いじめ相談」を行っていますが、三木市では、メールでの相談を行っています。いじめに出あった時にすぐにメール相談ができるように、できたら、あらかじめ下記のメールアドレスをあなたの携帯やスマホに登録しておいてください。

[ijime\\_boshicenter@city.miki.lg.jp](mailto:ijime_boshicenter@city.miki.lg.jp)



三木市子どもいじめ防止センター

電話: 0794-82-8110